

学校教育目標

- ① 自ら課題を設定し、その解決に向けてねばり強く取り組む意欲と能力を育成する。
- ② 互いに認め合い、共に生きていく関係をつくる意欲と態度を培う。
- ③ 自分の身体について理解を深め、健康や安全に対する関心を高める。

将来目指す人間像

柔軟な思考力と行動力で、これからの社会をよりよく生きるための幅広い能力を身に付けた人間



短期重点目標

目指す生徒像

- 心理的** 他者との関わりから自己有用感を高めたり自己調整を図ったりして、物事への誠実な対応ができる生徒
自己の在り方について考えたり、他者への思いやりを大切にしたりできる生徒
- 認知的** 変化する社会に柔軟に対応し、新たな価値を創造することができる生徒
多面的・多角的な考察を通じて問題を発見し、解決のために適切な判断ができる生徒
- 身体的** 自分の心と身体についての理解を深め、健康や安全への心がけができる生徒
- 社会的** 持続可能な社会の創り手として、多様な他者と価値観を認め合い、協働して取り組める生徒
社会の諸課題を自分自身に関することとして捉え、その解決に向けて粘り強く取り組める生徒

附中教育方針

- 適応
- 協調
- 自律

YNU 理念

- 実践性
- 先進性
- 開放性
- 国際性

生徒の実態

- 自分の考えを相手に適切に伝える発信力がある。
- 明るく素直に物事に取り組むことができ、男女間の仲も良い。
- 失敗や間違いを避けようとする傾向があり、自己肯定感も低い。
- 健康への理解は高いが、運動に自信のない生徒が多い。

保護者の願い

- 道徳教育や国際理解教育等、教科の枠を越えた学校教育活動の活性化
- 一人一台の TPC を効果的に活用した ICT 教育のさらなる充実
- 生徒に寄り添った形成的評価と、信頼性の高い総括的評価の充実

目指す学校像

- 生徒、教師が共に学び合い深め合える学校
- お互いを認め合い、安心して生活できる学校
- 心身共に健やかに成長できる学校

目指す教師像

- 生徒と共に学び続けられる教師
- 様々な考えや個性を受容し、寄り添うことができる教師
- 心身の調和や成長を促すことができる教師

研究主題：これからの「学校」のあるべき姿を追究する I
～資質・能力の高まりを支える学習評価のあり方～

① 豊かな心の育成

- 「自治」を意識した生徒会活動と「自律」を意識した学級づくりの充実
- 道徳教育の推進及び「特別の教科 道徳」の効果的な授業づくり
- * 本校の重点項目
- [思いやり、感謝] [よりよく生きる喜び]
- 自尊感情や他者意識を高める体験活動の充実

② 確かな学力の育成

各観点における、効果的な学習評価を実現するためのフィードバック方法の確立

「まなびの手引き」「学習プラン」を用いた、見通す・振り返る学習活動の充実

「考えるための10の技法」を基にした考え方の構築

③ 健やかな体の育成

- 安心・安全な環境の整備に向けた校内体制の確立と日常的な取組の徹底
- 教育相談や教科面談の充実をはじめとした、生徒の悩みや葛藤に傾聴し寄り添える時間や場面の確保
- 生徒個々の心身の状況に配慮した支援方法を充実させるための校内研修や支援体制の確立

総合的な学習の時間

TOFY・CANにおける探究的な学習を通して、よりよい社会の在り方や自己の生き方について考えることができる生徒の育成

TOFY 探究課題

よりよい探究を実現する基礎スキル
地域や社会に貢献する課題別学習
自己に問い、社会に寄与する TOFY 探究

「まなびの手引き」「学習プラン」を用いた、見通す・振り返る学習活動の充実

「考えるための10の技法」を基にした考え方の構築

CAN 探究課題

自己を見つめる学習
「働くとは」「平和とは」
進路について

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

- 自ら見いだした課題について、見通しをもって多面的・多角的に考え調べる力
- 得られた根拠を基にして、自らの考えを提言したり、思いを工夫して表現したりする力
- 調べたり提言したりして表現することを通して、自己の生き方について考える力

学年指導の重点

第1学年
学年教育目標
「規範意識と協力」
中学生としての自覚をもち、ルールとマナーを守り、仲間と協力できる生徒の育成
学年経営方針
認め合い・支え合い・高め合い

第2学年
学年教育目標
「思慮と感謝」
積極的かつ思慮深く行動ができ、周囲に思いやりと感謝の気持ちをもつ生徒の育成
学年経営方針
温かな人間関係を土台にした心の居場所づくり

第3学年
学年教育目標
「自律と自立」
自分の生き方を真剣に考え、責任をもって意思決定のできる生徒の育成
学年経営方針
自ら学び、互いを高める

教科等

- 中高一貫教育における、Fyの目指す「リテラシー」の育成
- 「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」の教科等横断的な育成
- 各教科におけるカリキュラム・マネジメントの推進
- 教科研究テーマを軸にした実践

国語 国語科におけるカリキュラム・マネジメントの実践
社会 学びの履歴を実感し、次の学びにつながる単元デザインと指導計画の工夫
数学 「問題発見・解決能力」を育む指導と評価
理科 探究的な活動を軸としたカリキュラム・マネジメントの実践
音楽 音楽表現のよさや多様性を実感をもって感じ取れる学びの実践と学習評価の工夫
美術 美術科における探究的な学びの実践と評価
保健体育 多様性を認め合い、協働する中で新たな価値を創造、創発できるカリキュラム・マネジメント
技術・家庭 生活を工夫し創造する資質・能力を育むカリキュラム・マネジメントの工夫
英語 パフォーマンス課題を通して、コミュニケーション能力を育成する学習評価の工夫

各部の重点

研究部
研究テーマを基にした研究の推進
ICT推進委員会と協働して society5.0 時代に即した ICT を利活用した授業の提案

教育部
学校全体で意図的につながりをつくり出す道徳教育の実践と総合的な学習の時間の見つけ直し

指導部
他者や集団との協調、協働
学習や生活環境の整理、安全意識の醸成
言動一致できる人間性の育成

教務部
本校の教育目標の実現を目指し、教員間の連絡・調整の軸となった教育活動の円滑な運営
学校と家庭との連携を密にし、情報共有できる体制づくりと運営

安心・安全を守る

- 認め合い、安心して過ごせる教室、学校づくり
- 災害時、非常時のマニュアルの作成および共通理解
- 避難訓練等、有事を想定した訓練の定期的な実施
- スクールカウンセラーを含めた校内支援体制の充実
- 長期休暇明けの教育相談の充実
- 情報モラル教育の充実
- 一斉下校時の近隣のパトロール
- 安全点検の定期的な実施

開かれた学校づくり

- 学校公開週間の設定
- 学校ホームページの情報の充実
- 学年、学級通信等による定期的な情報発信
- 緊急連絡メールの有効活用
- PTA 活動の充実
- 生徒、保護者、教職員による学校評価
- 研究成果の書籍刊行および研究発表会の実施による発信